

6月に学校が始まってから今までを振り返り、私が素晴らしいと思う皆さんの姿を話します。

1 中央中ギネスについて

再開後、学校では臨時休校で遅れた学習内容を取り戻すために、授業が優先して行われてきました。体育祭や宿泊研修が中止となり、皆と協力して一つのことに取り組む行事がなくなっていました。そうした中で、生徒会執行部が、「中央中ギネス」という形で、学級で楽しく活動する機会を設けてくれたことに感謝します。

先ほど表彰紹介が行われましたが、参加した学級の皆さんはどんな感想を持ちましたか？たくさんの時間を使って練習したり、競い合って競技をしたりしたわけではありませんが、「楽しかった」とか「もう少しできたのに」と思ったのではないのでしょうか。

そうした学級の時間を生徒会執行部が企画し、この種目に参加しようと学級で決め、昼休みに集まって挑戦するところまで、生徒の皆さんの力でできたことが素晴らしいことです。

2 絆づくり活動について

『掃除とは、“ホコリ”というプライドを集める作業』

7月の絆づくり活動は、「時間いっぱい掃除」でした。このことについて、教務主任の左高先生が、先生向けに出している週予定にコメントを書いていたので紹介をします。

「全校の掃除場所を巡回すると、どの生徒も中央中の掃除スタイルに誇りをもって取り組んでおり、ぶれないその姿に感心します。特に、見つけ掃除で主体的に掃除箇所を見つけてきれいにしようとする姿は、素晴らしいと思います。この姿は市内のどの学校にも誇れる姿ではないのでしょうか。2ヶ月間の成長度や良さ、中央中の自信と誇りを大いに広めていけるとよいと思います。」左高先生は、4月に本校に異動してみえたのですが、皆さんの姿を見てこうした言葉を聞けるのはとても嬉しいことです。

ぜひ、掃除に向かう自分の姿に「誇り＝プライド」に持ち、その「誇り」をもった一人一人が集まって、中央中の「誇り」である清掃活動を続けていきましょう。

7月の中旬以降、新型コロナウイルス感染者が急増し、岐阜県では、7月31日に「第2波非常事態」が宣言されたことは皆さんも知っている通りです。夏休みの12日間で今の状況がどうなっていくか予測ができませんが、私たちは今まで通り健康管理に注意し、感染予防を続けていくことが必要です。

そして、もし、もしも、家族や自分が感染したとしても、悪いことをしたわけではないので、安心してしっかり治してほしいです。また、「うわさ」や「なんとなく」で、互いの心を傷つけることがあってもいけません。そんな社会、そんな周りであることが大切であることも分かる皆さんであってください。

では、明日から始まる夏休みも「向上心」をもって過ごし、8月20日に元気な皆さんと会えることを楽しみにしています。